

2010年12月期 第2四半期

決算説明会資料

（2010年1月1日～2010年6月30日）



銘柄コード 9384（東証二部）



内外トランスライン株式会社

I. 会社概要と事業内容



NVOCC

Non-Vessel Operating Common Carrier

外航海運利用運送業

わたしたちは、お客さまに**最適・最速の輸送サービス**を提供する**国際海上輸送のプロ**です。

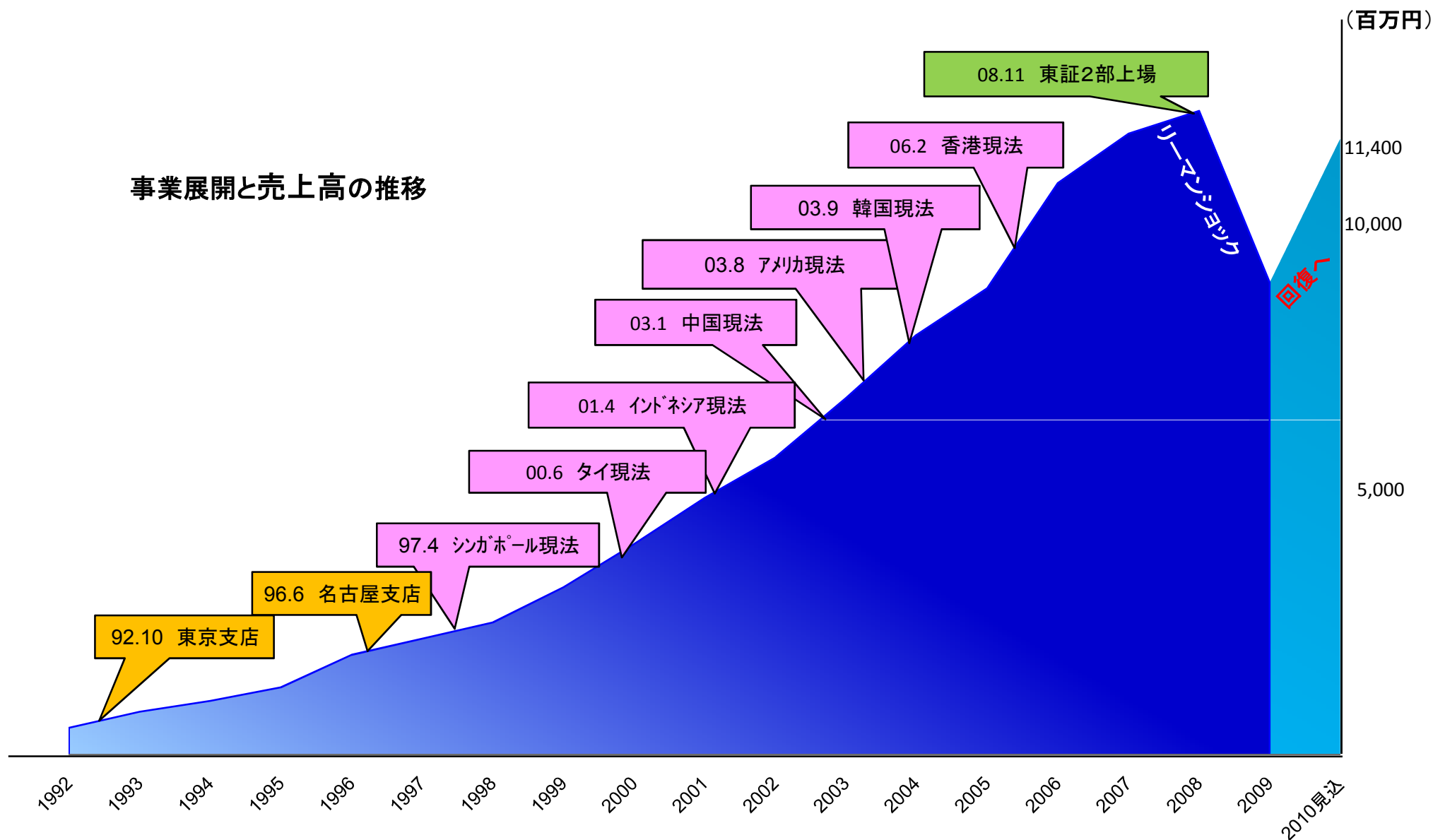
船舶を所有せず、船会社のスペース（船腹）を借りて利用し、お客さまの貨物を海上輸送します。

社名	内外トランスライン株式会社
設立	1980年5月1日
代表取締役社長	戸田 徹
本社所在地	大阪府中央区安土町3丁目5番12号
資本金	1億5,651万円
従業員数	327人（連結、2010年6月末現在）
事業内容	外航海運利用運送事業（国土交通省：運貨326・123号） 海陸複合一貫輸送業 陸上運送取次業 船舶代理店業
銘柄コード	9384（東証二部）

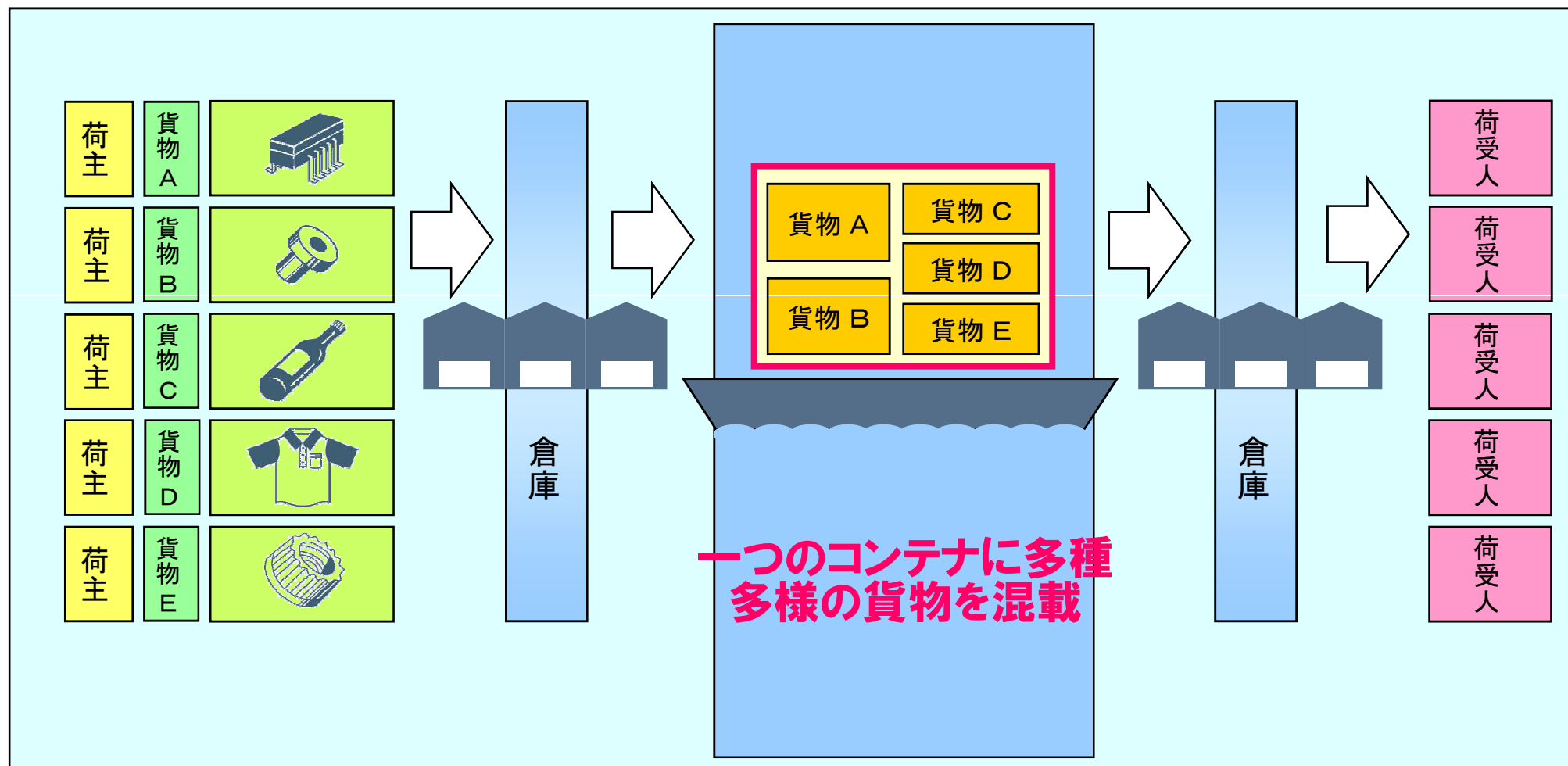
■ 当社成長の歩み

NAIGAI TRANS LINES

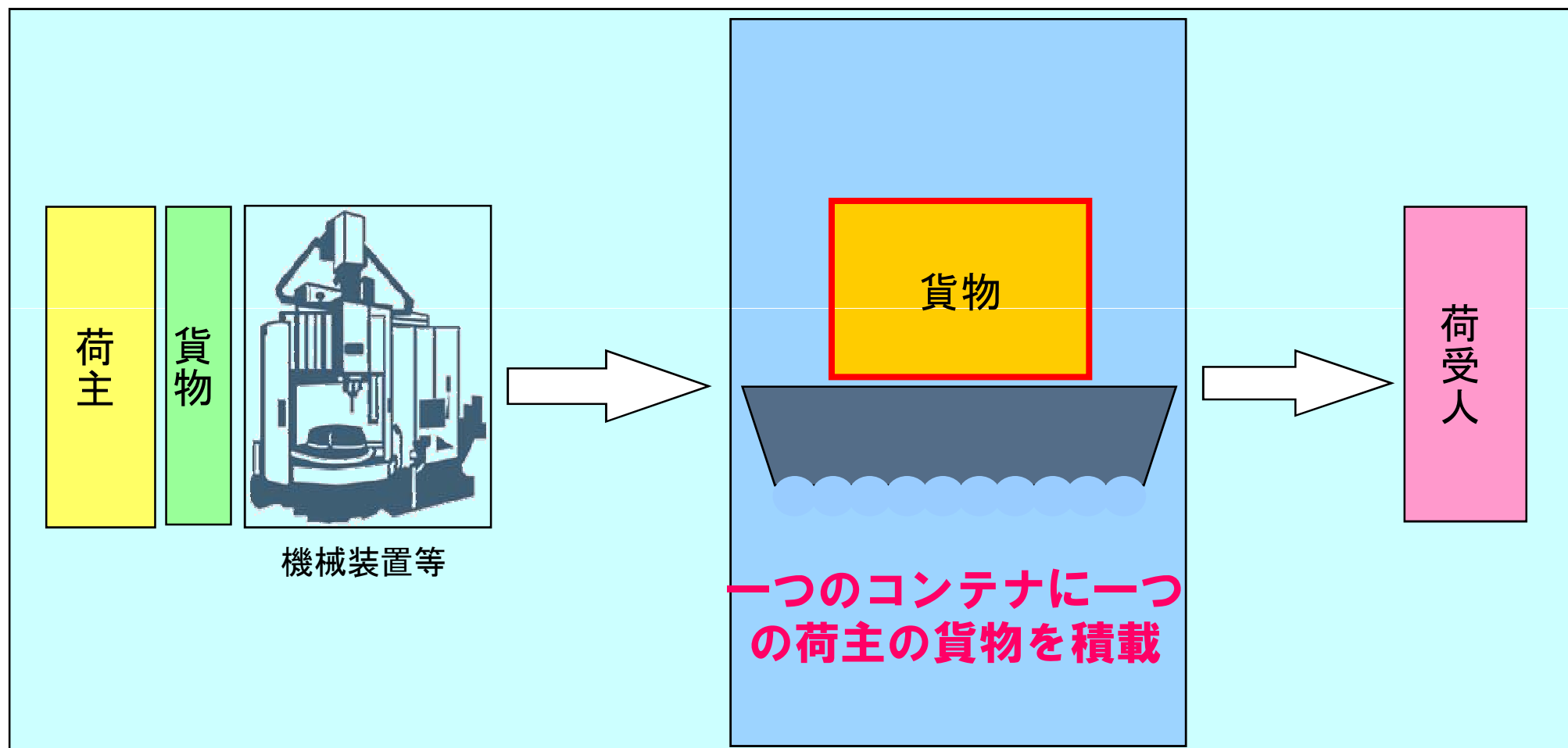
事業展開と売上高の推移



混載輸送 (LCL = Less than Container Load)



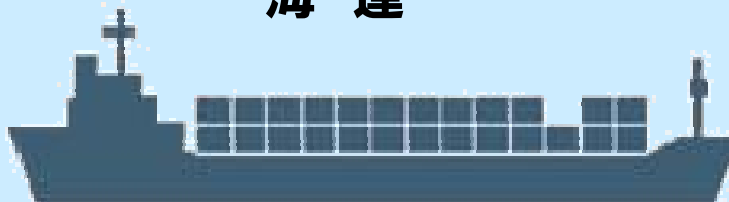
フルコンテナ輸送（FCL=Full Container Load）



(空運)



海 運



(陸運)



当社事業の特徴

当社は独立系、ノン・アセットの運輸事業者

NVOCC

国際海上輸送に特化

船舶は所有していない

コンテナ混載輸送(LCL)が得意

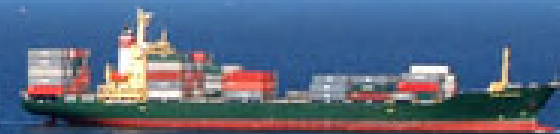
輸出LCLでは屈指のシェア

世界中に張り巡らされた航路を利用

高品質サービスで顧客の信頼を獲得

強 み	その効果
設備を持たないノン・アセット経営	高い収益構造
系列に属さない独立経営	世界の主要航路をほとんどカバーしている
世界各地に現法を配置	キメ細かいサービスで顧客の厚い信頼を獲得
船会社や倉庫会社のブランド力	顧客の安心と信頼
輸出を主力としている	収益性が高い
アジア市場向けを主力としている	成長性が高い

Ⅱ．第2四半期決算の概要



■ 連結第2四半期決算の概要（対前年）

NAIGAI TRANS LINES

単位：百万円

	第1 四半期	第2 四半期	第2 四半期累計	前年同期	対前年 増減額	対前年 増減率(%)
売上高	2,539	2,930	5,470	4,066	1,403	34.5
売上総利益	852	945	1,798	1,511	286	19.0
営業利益	201	278	479	222	256	115.0
経常利益	212	283	496	375	120	32.0
四半期純利益	124	177	301	200	101	50.6
1株当たり 当期純利益(円)	50.89	72.51	123.40	81.92	41.48	50.6

【決算概要】

1. 売上高 輸出LCLを中心に前年同期比34.5%増となった。
2. 営業利益 売上原価は運賃の値上げ等で4.3ポイント増となったが、販管費は2.4%増にとどまり営業利益は115.0%増加した。
3. 純利益 営業外損益が136百万円減少したが、売上増が寄与し純利益は50.6%増加した。

■ 対前年増減要因の概要

NAIGAI TRANS LINES

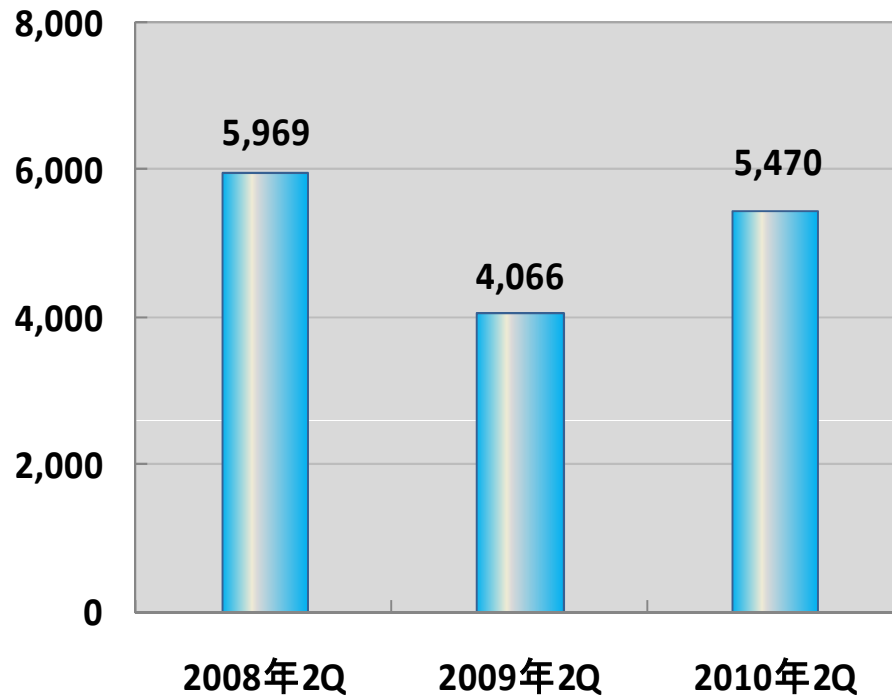
単位：百万円

	第2 四半期 累計	前年 実績	対前年 増減額	対前年 増減要因	増減額
売上高	5,470	4,066	1,403	・日本 34.8%増 ・海外 25.5%増	1,144 278
売上原価	3,671	2,555	1,116	・販売数量増による仕入増 ・日本 原価率3.7ポイントUP ・海外 原価率3.0ポイントUP	884 190 42
販管費	1,319	1,288	30	・人件費の増加 ・経費の増加	18 12
営業利益	479	222	256		
営業外損益	16	152	△136	・保険解約返戻金の減少	△121
経常利益	496	375	120		
純利益	301	200	101	・投資有価証券評価損なし ・固定資産売却損減少 ・法人税等増加	41 7 △69

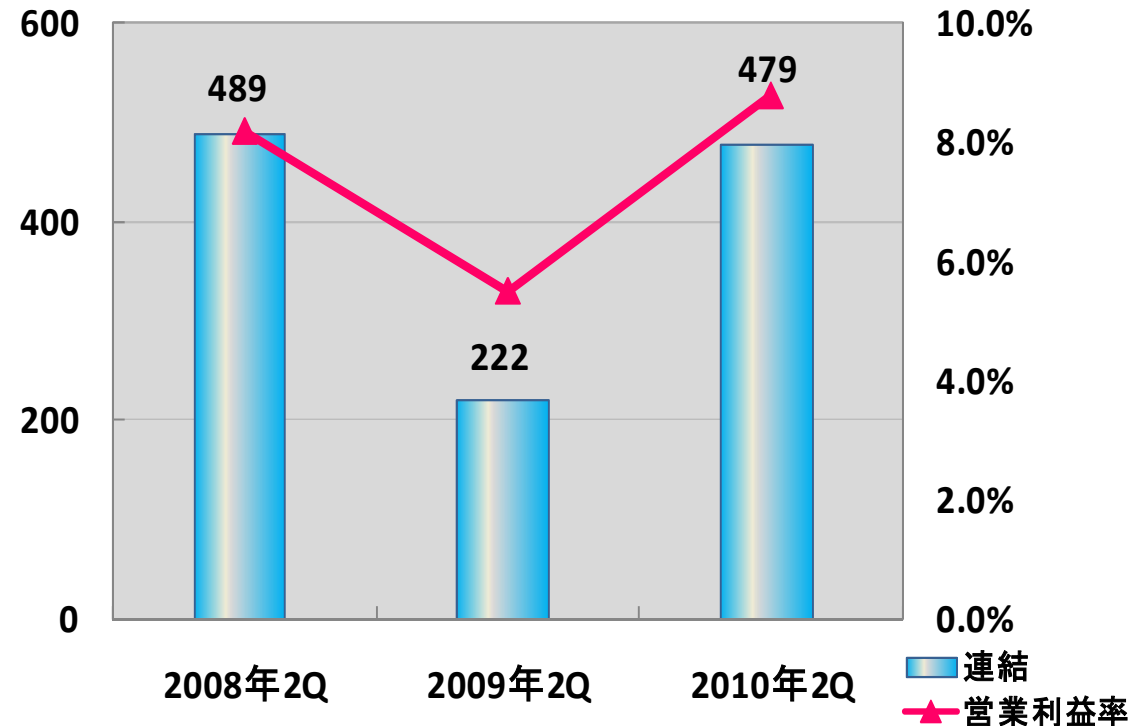
第2四半期 累計売上高・累計営業利益

(単位：百万円)

売上高



営業利益



リーマンショックを乗り越え当期は急回復へ

- 売上高は'09年比34.5%増、'08年比では8.4%減
- 営業利益は'09年比115%増、'08年比では2.4%減
- 営業利益率は'08年(8.2%)を上回る8.8%に

■ 連結四半期決算の概要（対予算）

NAIGAI TRANS LINES

単位：百万円

	第2四半期累計	年 初 予 算	対予算 増減金額	対予算 増減率(%)
売 上 高	5,470	4,350	1,120	25.8
営 業 利 益	479	360	119	33.1
経 常 利 益	496	390	106	27.2
四 半 期 純 利 益	301	210	91	43.7
1 株 当 た り 当 期 純 利 益 (円)	123.40	85.87	37.53	43.7

【予算差異概要】

1. 売上高 輸出LCLを中心に対予算1,120百万円（25.8%増）となった。
2. 営業利益 運賃値上げ等による売上原価5.8ポイントUPにより、対予算119百万円増にとどまった。
3. 経常利益 営業外損益が対予算13百万円減となったが、対予算27.2%増となった。
4. 純利益 法人税等が対予算18百万円増となったが、対予算43.7%増となった。

■ 貸借対照表の概要

NAIGAI TRANS LINES

単位：百万円

	当第2 四半期末	前年 12月末	増減額	増減要因	増減額
流動資産	3,981	3,672	309	・現金及び預金の増加 ・有価証券の増加 ・売掛金の減少	246 100 △20
固定資産	1,423	1,548	△124	・有形固定資産の減少 ・投資その他の資産の減少	△16 △98
資産合計	5,405	5,220	184		
流動負債	903	865	38	・未払法人税等の増加 ・その他流動負債の減少	74 △43
固定負債	149	148	0	・ほぼ変動なし	
負債合計	1,053	1,014	38		
純資産合計	4,352	4,206	145	・利益剰余金の計上 ・配当金の支払い ・為替換算調整勘定の減少	301 △97 △59
負債純資産 合計	5,405	5,220	184		

■ キャッシュ・フロー

NAIGAI TRANS LINES

単位：百万円

	2009/2Q累計	2010/2Q累計	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	217	412	195
投資活動による キャッシュ・フロー	△88	△12	75
財務活動による キャッシュ・フロー	△120	△97	23
現金及び現金同等物 の残高	2,286	3,109	822

キャッシュ・フローの概要

営業活動 純利益の増加170百万円等により対前年に比べ195百万円増加した。
投資活動 有価証券・投資有価証券の取得が減ったため75百万円増加した。
財務活動 前期はコミットメントライン手数料の支払いがあったが、当期は配当金の支払いのみであったため23百万円増加した。

結果、現金及び現金同等物の残高は前年同期に比べ822百万円増加した。

■ 地域別セグメントの概要

NAIGAI TRANS LINES

単位：百万円

売上高	2009/2Q		2010/2Q		増減額	増減率(%)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)		
日本	3,285	75.1	4,429	76.4	1,144	34.8
アジア地域	1,013	23.2	1,269	21.9	255	25.2
その他	75	1.7	97	1.7	22	29.2
連結調整	△308	—	△327	—	△19	—
合計	4,066	100.0	5,470	100.0	1,403	34.5

営業利益 (損失)	2009/2Q		2010/2Q		増減額	増減率(%)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)		
日本	134	60.4	349	72.9	215	160.5
アジア地域	94	42.3	132	27.7	38	40.7
その他	△5	△2.7	△2	△0.6	2	—
合計	222	100.0	479	100.0	256	115.0

■ サービス別売上高

NAIGAI TRANS LINES

金額単位：百万円

単 体	2009/2Q		2010/2Q		増減率(%)	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額
【輸出】						
LCL(千R/T)	218	2,116	264	2,757	20.8	30.3
FCL(千TEU)	6.3	405	8.6	678	37.1	67.3
輸出計	—	2,522	—	3,436	—	36.2
【輸入】						
LCL(千R/T)	92	654	102	770	10.6	17.7
FCL(千TEU)	4.1	113	5.5	216	34.4	91.3
輸入計	—	767	—	987	—	28.5
輸出＋輸入合計	—	3,290	—	4,423	—	34.5

■ 計画達成状況

NAIGAI TRANS LINES

対年初予算

単位：百万円

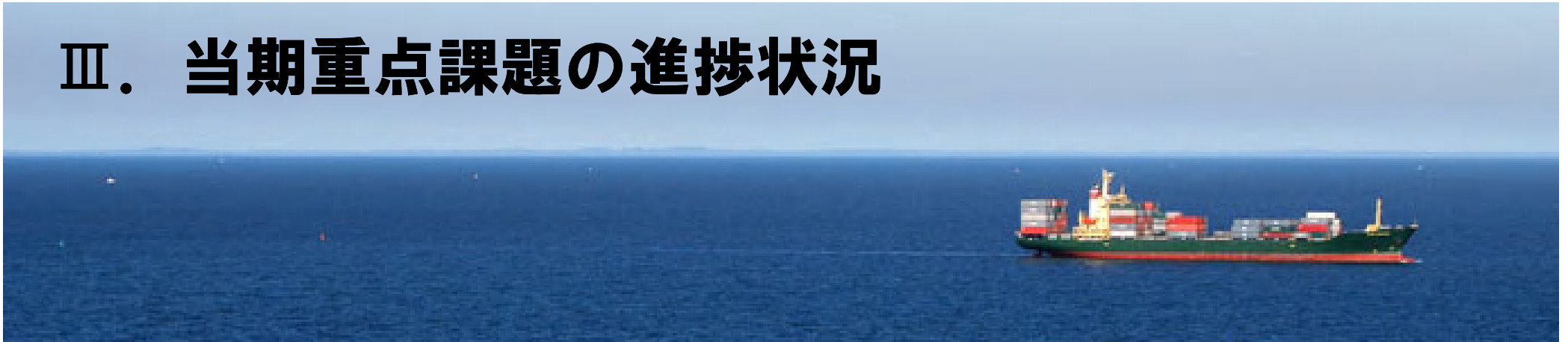
	2Q実績	年初計画	対計画増減額	対計画達成率(%)
売上高	5,470	4,350	1,120	125.8
営業利益	479	360	119	133.1
経常利益	496	390	106	127.2
当期純利益	301	210	91	143.7

対修正予算

単位：百万円

	2Q実績	修正計画	対計画増減額	対計画達成率(%)
売上高	5,470	5,478	△8	99.9
営業利益	479	468	11	102.4
経常利益	496	494	2	100.4
当期純利益	301	292	9	103.1

Ⅲ. 当期重点課題の進捗状況



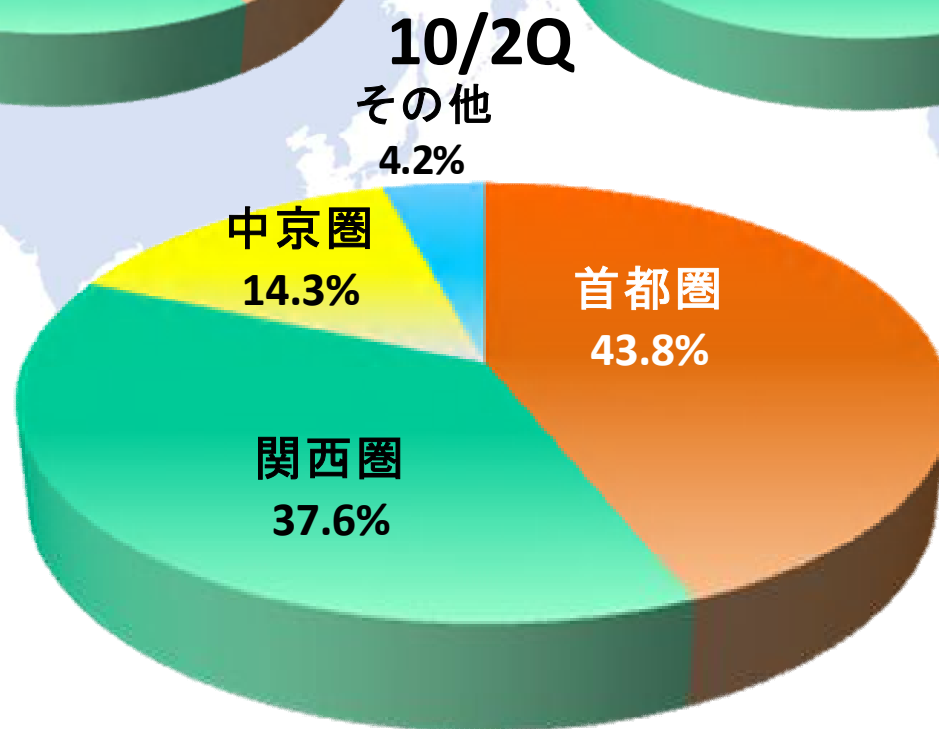
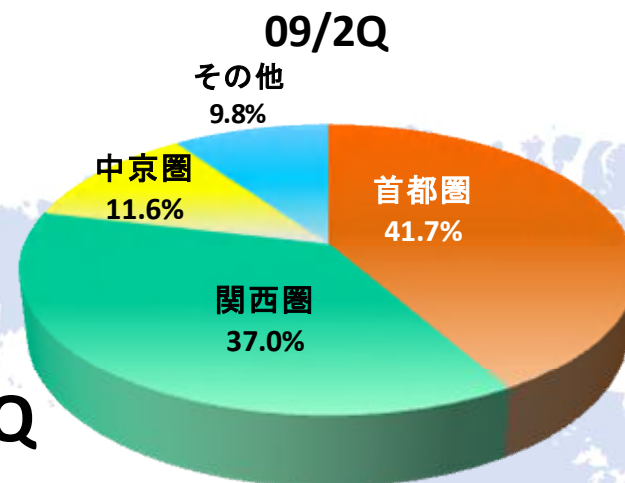
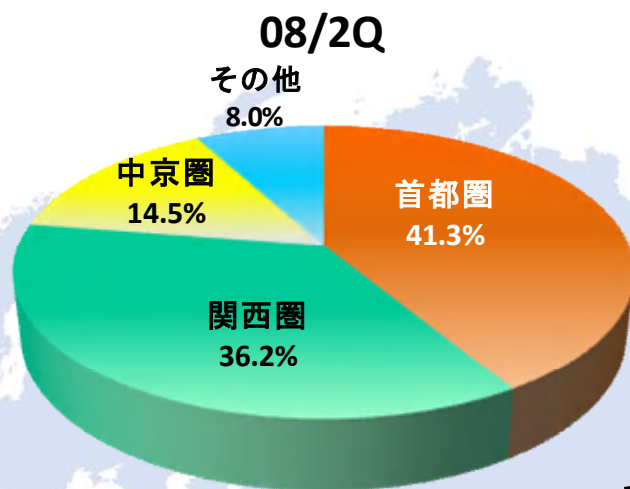
1. 首都圏・中部圏の営業力強化
2. 輸入ビジネスの強化
3. 海外ネットワークの強化と事業領域の拡大

首都圏輸出売上高と売上数量

	2008/2Q	2009/2Q	2010/2Q
金額 (百万円)	1,739	1,049	1,507
金額シェア (%)	41.3	41.7	43.8
数量 (千RT)	225	145	190
数量シェア(%)	42.7	43.8	45.5

当社輸出売上の首都圏シェアは、営業組織の充実と戦力の増強により徐々に拡大している

首都圏輸出売上高



■ 輸入ビジネス強化計画の実績状況

NAIGAI TRANS LINES

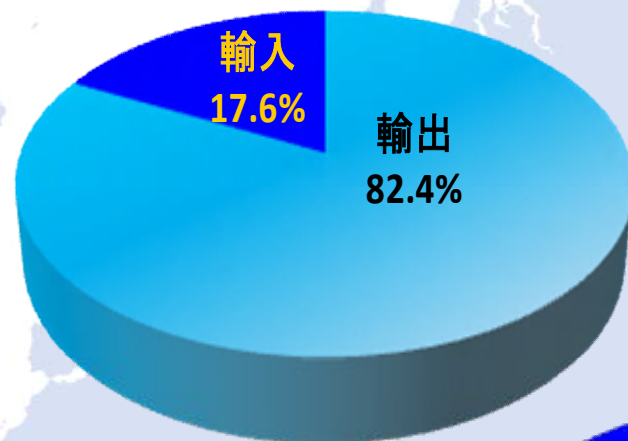
売上高と売上総利益における輸入比率

	2008/2Q	2009/2Q	2010/2Q
輸入売上高 (百万円)	902	769	983
売上高中 輸入比率(%)	17.6	23.3	22.3
輸入売上総利益 (百万円)	251	233	267
売上総利益中 輸入比率(%)	17.3	21.1	20.2

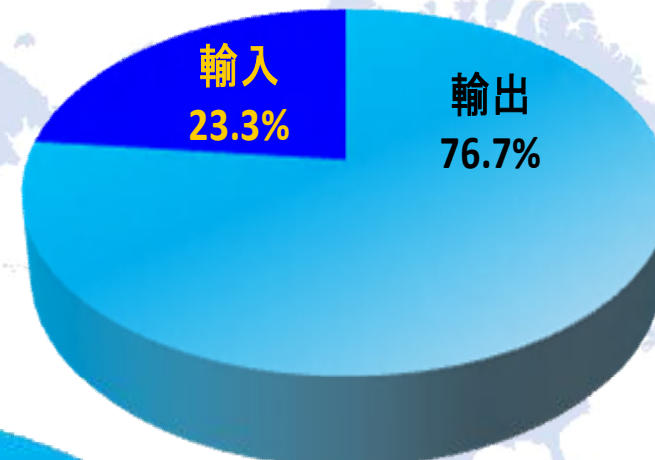
相対的には輸入の比率は順調に拡大し、売上全体の底上げにつながっている。

輸入売上高比率

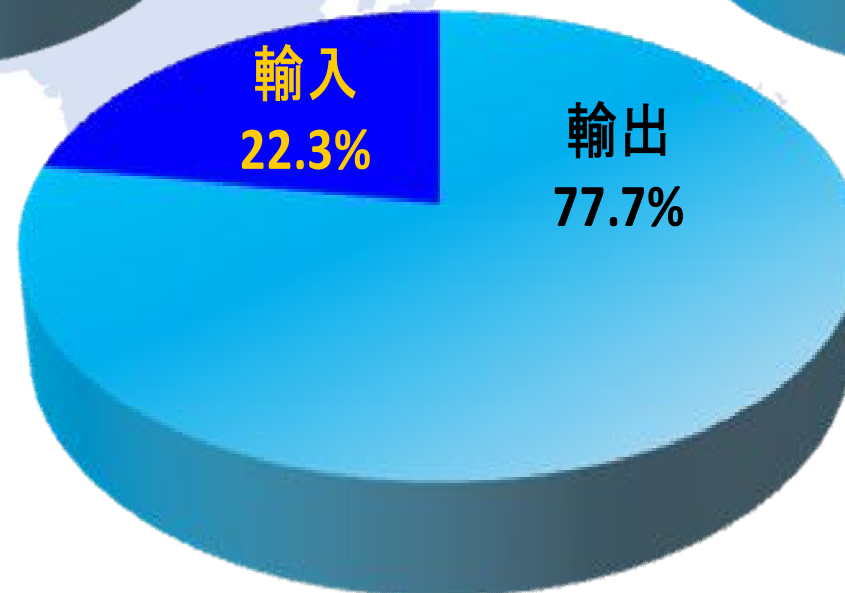
08/2Q



09/2Q



10/2Q



創立30周年を迎えました。(5月1日)

国内

- 東京支店営業組織の強化
- 新卒＋即戦力キャリア採用
- 中間配当実施

海外

- 中国現法広州支店開設 (2月)
- Cargo One 社買収 (7月)

グローバル
ネットワーク

- 海外事業室の新設
- 業務提携の推進拡大

会社概要

- 本 社 米国 New York州
- 資本金 115千米ドル(当社100%出資)
- 事業内容 国際海上輸送業

買収の狙い

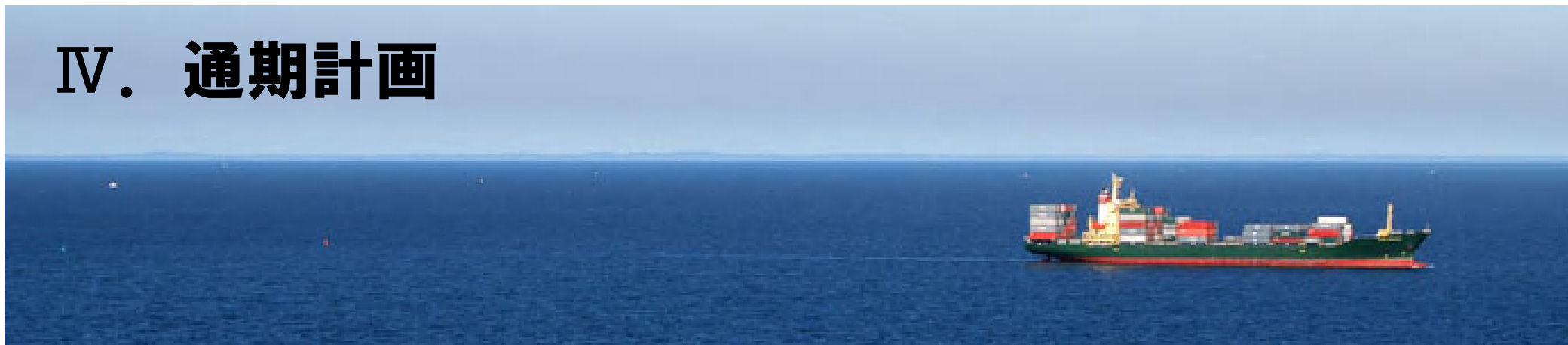
- 米国東海岸の拠点設置により当社グローバルネットワーク確立の基礎固めをはかる

具体的戦略

- 米国内における西海岸(NTL-USA)との連携による機能強化
- 欧州・大西洋航路に向けての拠点作り
- 中南米への中継拠点

7月初旬より当社子会社として事業を開始しました。

IV. 通期計画



国内

- 首都圏・中部圏の営業力強化
- 輸入ビジネスの強化

海外

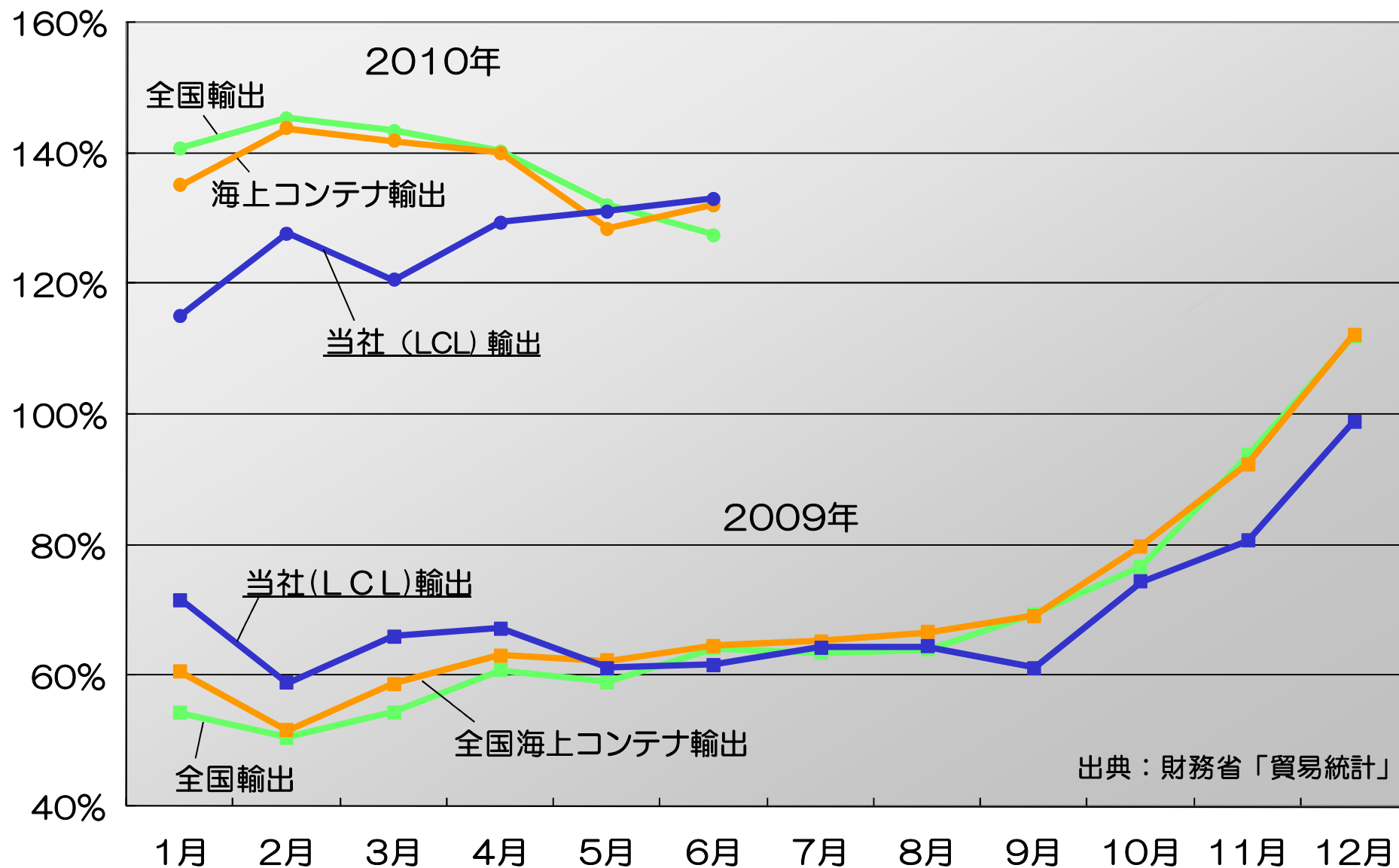
- グローバルネットワークの強化
- 中国、西アジア、米国、南米、欧州

事業
領域
拡大

- 通関業、倉庫業、船舶代理店業等
の有機的連携

国際総合フォワード

輸出の月次推移状況（対前年同月比伸び率）



■ 連結通期業績の予想

NAIGAI TRANS LINES

単位：百万円

	2Q累計 実績	3Q+4Q 計画	通期計画	前年通期 実績	対前年 増減額	対前年 増減率	(参考) 年初計画
売上高	5,470	5,929	11,400	8,735	2,664	30.5	9,500
営業利益	479	545	1,025	635	389	61.2	856
経常利益	496	541	1,038	808	229	28.4	910
純利益	301	322	624	396	227	57.5	500
1株当たり 当期純利益(円)	123.40	131.76	255.16	161.97	93.19	57.5	204.46

【通期見込概要】

1. 売上高 世界経済の回復は鈍化の見通しだが、通期売上高は対前年30.5%増（下期売上高は対上期比8.4%増、対前年下期比27.0%増）の見込
2. 営業利益 運賃値上げ等で売上原価4ポイント増、販管費は5.5%増に抑制、営業利益は61.2%増（営業利益率9.0%）の見込
3. 純利益 前年比57.5%増（純利益率は5.5%）の見込

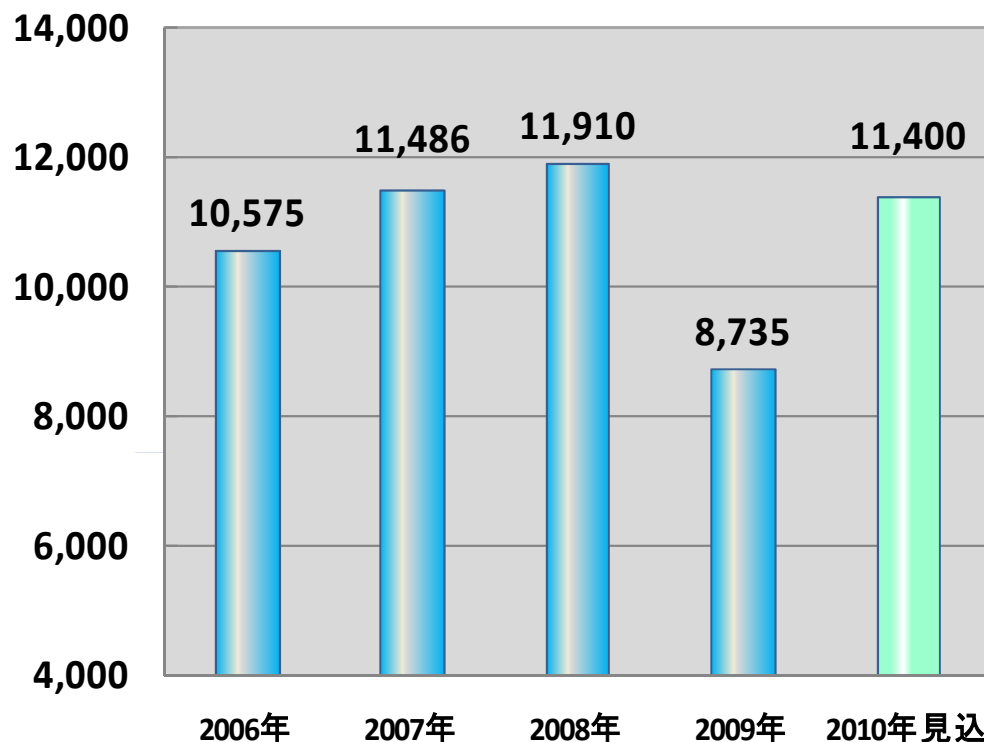
■ 通期連結業績の推移

NAIGAI TRANS LINES

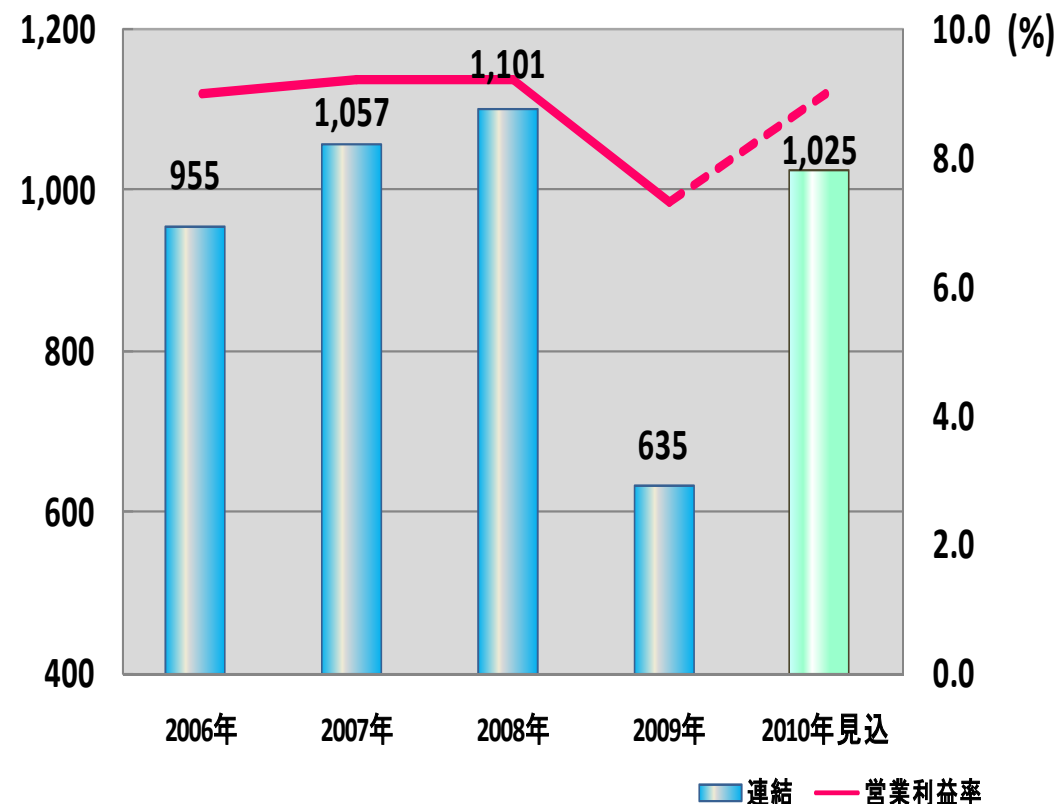
連結売上高・連結営業利益

(単位：百万円)

売上高



営業利益



- '09年は世界経済の大減速により当社業績も大きな影響を受けたが、当期は'08年業績に今一步と迫るところまで回復の見込
- 売上高は対'08年で96%まで回復の見込であるが、営業利益は、原価増の影響を受けやや回復は鈍くなる見込

■ サービス別売上高通期計画

NAIGAI TRANS LINES

金額単位：百万円

単 体	2009		2010計画		増減率(%)	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額
【輸出】						
LCL(千R/T)	476	4,519	568	5,906	19.3	30.7
FCL(千TEU)	14.2	902	17.4	1,363	22.6	51.0
輸出計	—	5,422	—	7,269	—	34.1
【輸入】						
LCL(千R/T)	203	1,359	224	1,621	10.6	19.3
FCL(千TEU)	8.5	273	11.2	433	31.5	58.9
輸入計	—	1,632	—	2,055	—	25.9
輸出+輸入合計	—	7,054	—	9,324	—	32.2

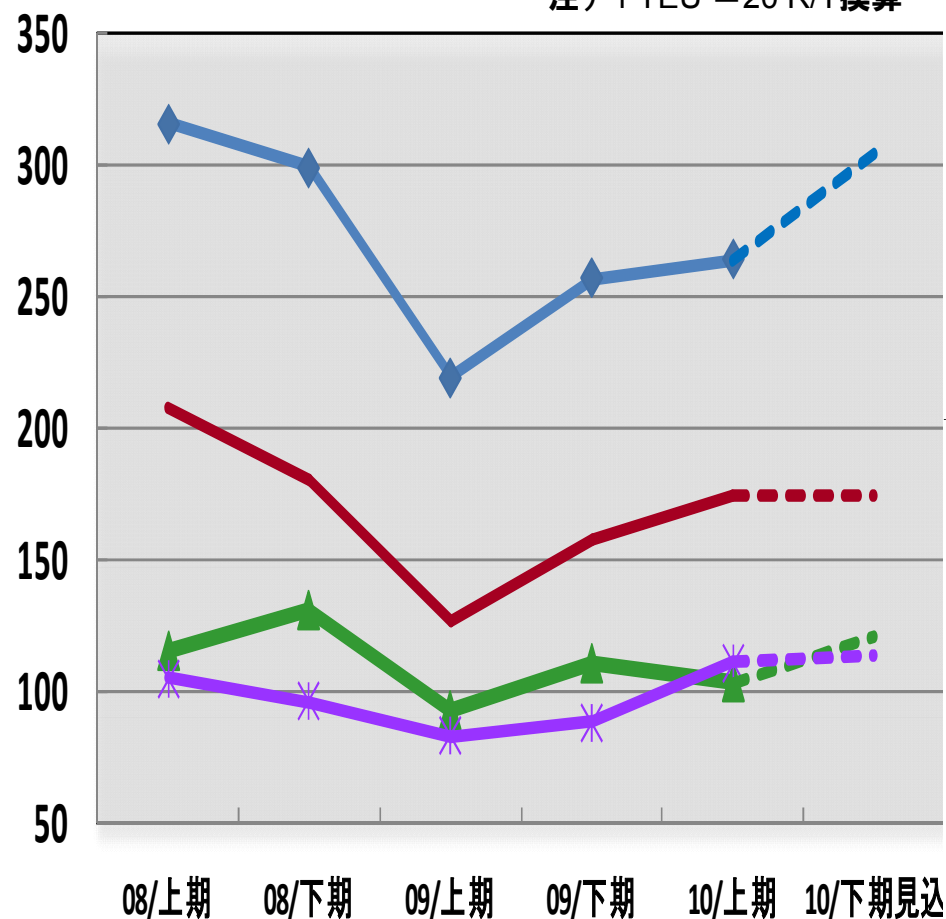
■ サービス別数量・売上高の推移

NAIGAI TRANS LINES

数 量

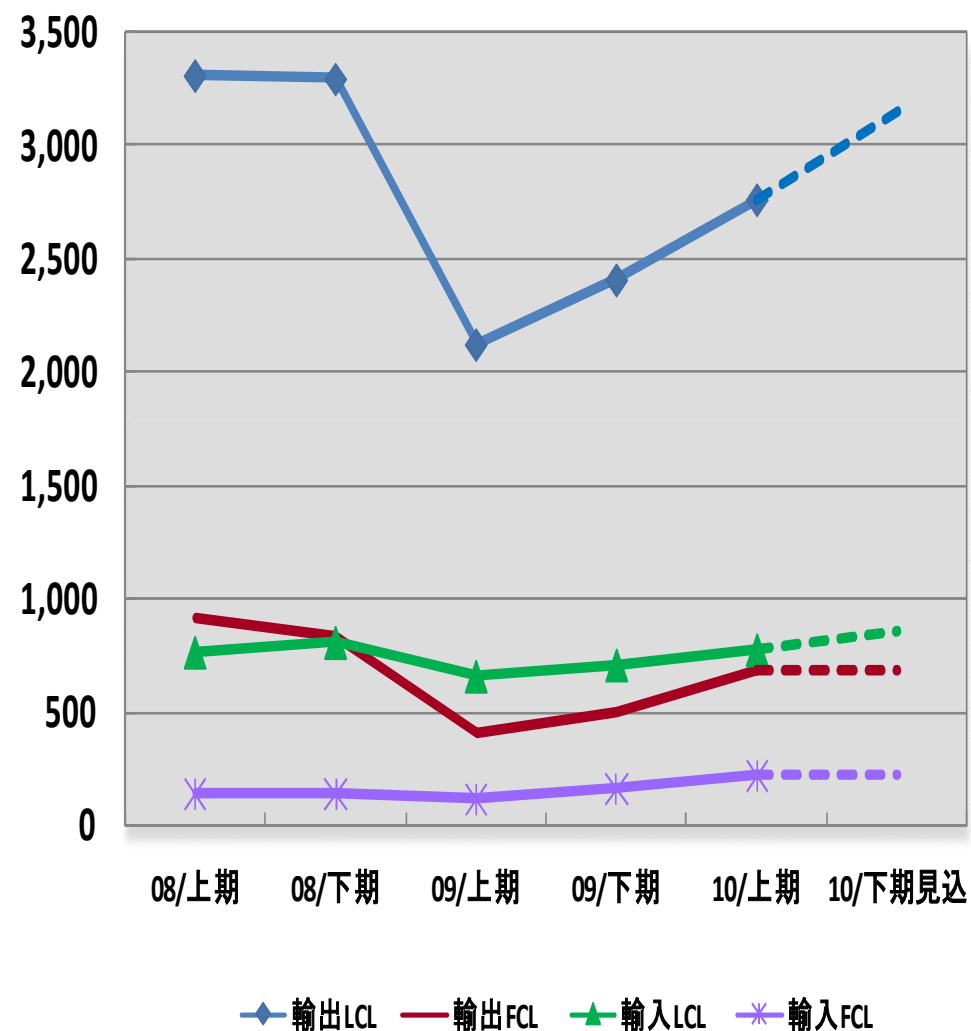
(単位:千RT)

注) 1 TEU = 20 R/T換算



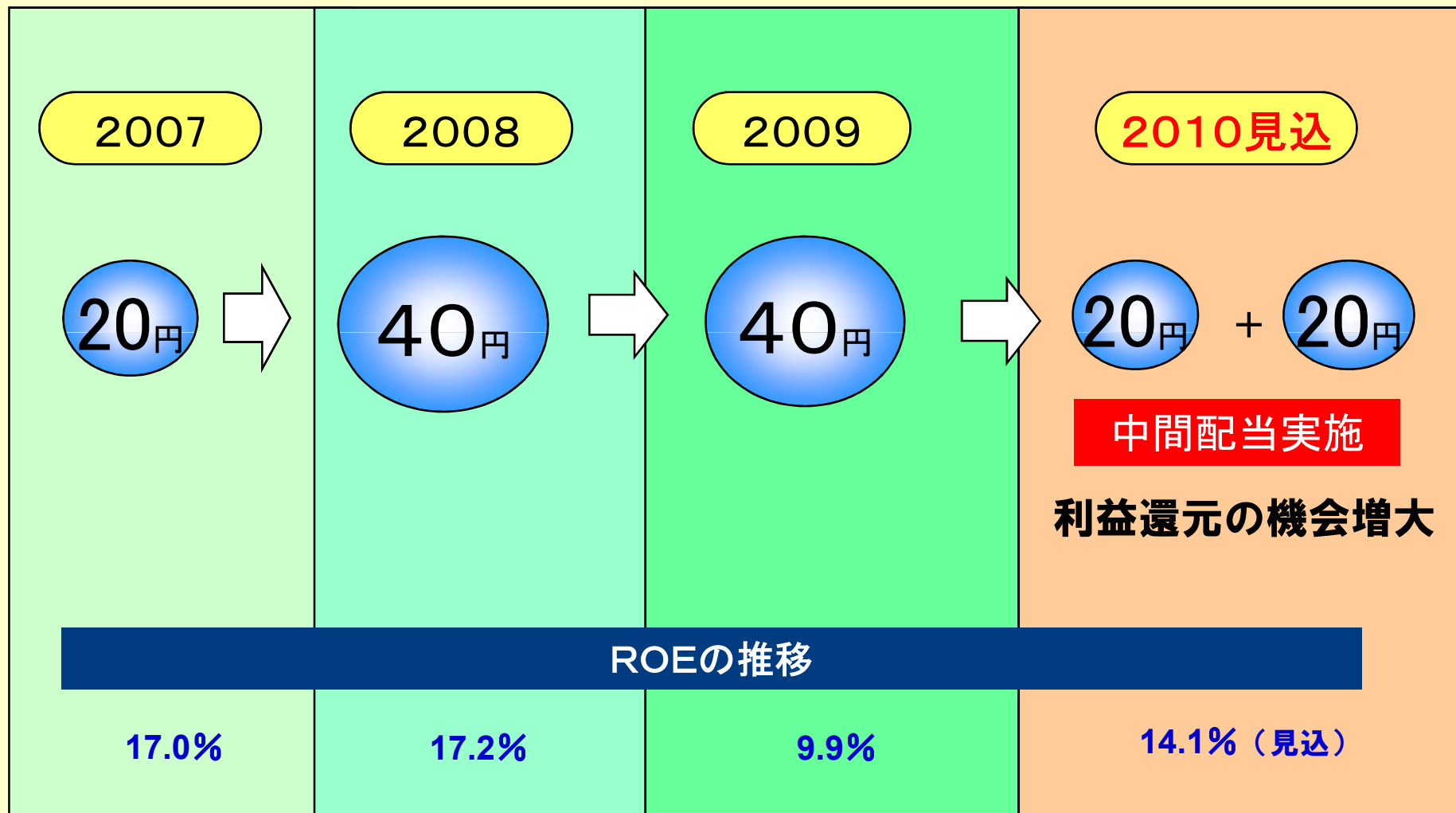
売上高

(単位:百万円)



◆ 輸出LCL — 輸出FCL ▲ 輸入LCL * 輸入FCL

1株当たり配当の推移





ご清聴ありがとうございました。



内外トランスライン株式会社

(ご注意)

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは既に具体化している事実を除き、本資料の作成時点で取得可能な情報に基づくものであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。そのため、実際の業績などは本資料に記載の見通しや予想とは異なる結果となる可能性があり、その内容を保証するものではありません。